

平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(5年生実施)より

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

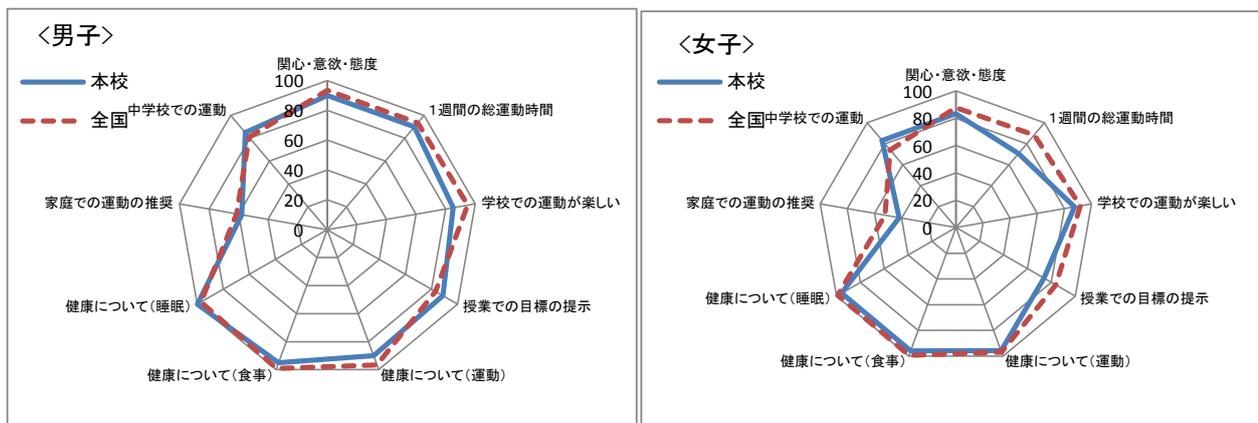
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
本市	16.78	19.79	31.93	41.14	51.08	9.41	151.32	23.82	53.77
全国平均以上の種目	○	○				○	○	○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54
本市	16.48	18.34	35.88	39.07	40.17	9.67	145.18	13.97	54.74
全国平均以上の種目	○						○	○	

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

○おおむね、全国平均と似た調査結果である。
 ○体育の授業以外で1週間に60分以上の運動をしている割合は、男子90%、女子70%で、全国平均を下回っている。その一方で、中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいという児童は、男子85%、女子83%で、全国平均より高い。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○体育の授業においても授業の目的を明確にさせ、「めあて」を持って学習に取り組むようにさせる。
 ○準備運動の場面で、キッズダンスや北九州市体力向上プログラムを活用し、課題である柔軟性や瞬発力の向上を図る。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○全校で外遊びを奨励し、毎日、昼休み前に放送委員が外に出て遊ぶよう呼びかける。
 ○運動量が落ちる冬場、休み時間に「ランランタイム」を位置づけたり、学校行事として持久走大会を実施したりして、運動量と体力の維持向上を図る。